

R ◆ Flag プロジェクト通信



NPO法人成年後見センターかけはし 神奈川県大和市柳橋2-1-26ウイングシバタ102
HP : <http://www.kakehashi-tomoni.org/> E-mail: info-kakehashi@galaxy.ocn.ne.jp
TEL : 046-244-5551 FAX : 046-244-5534



独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業



県央福祉会利用者さんの
素敵な絵を表紙にし
た冊子のテキスト

見の法10
実務人日
の内容につ午
の濃いて前
いお実成の
話に刺後
を刺後

研修会1日目

本会は、NPO法人成
年見センターかけはし
の令和2年度WAM助
成講演会・研修会事業
の第三弾となる二日間
の研修会となります。
当日は、新型コロナウイルス
の感染拡大防止対
策の為、会場の消毒、参
加者の検温、常時換気
を行い、3密を避けた状
態で実施しました。
台風14号の影響が懸念
されましたが、延べ43名
が参加し、盛況な二日間
となりました。

10月10日(土)・11日(日)の2日間にわたり、
県央福祉会法人会議室を会場に「成年後見の実
践例から学ぶ研修会その2」を開催しました。

第5回 かけはしWAM助成事業 本人の生活・生き方を支援する



松村 直道 氏

定NPO法人東葛市民後
見人の会理事長写真(左)
「認定NPO法人東葛
市民後見人の会の組織図」
には参加者から驚きの声
があがりました。それは
まさに企業のような統率
がとれていて、何故ここま
で徹底した組織なのか？そ
れは「何か問題が起これ
た時に信頼関係が一つに
崩れるから」と。ちとや
る必要がある。と。合
生その方の意向に合っ
た事業の活動について、
「献生」の活動を法律行為
として行う。と。合
個人としての活動は法律行為
として行う。と。合
ない。と。合
ドもって活動を進めたい
と村氏も、沢山で述べた
話がつりも、沢山で述べた



浮貝 明典 氏

午後2部の部は、浮貝明典
氏(NPO法人PDDサ
ポートセンター生活支援
部長写真(左))。
知的遅れがなく知的
レベルも高い発達障がい
者を対象としたサポ
ーターホーム事業実践のお話
をされました。
「サポーターホーム事業と
は、問題が起きる前から
関わっていき、こと
「体験の場なくして意思
決定支援はできない」と
述べる浮貝氏が重要な視
ているのは「できる・や
ていない」ではなく「や
ていられない」こと。
「グループレッスンで、な
るべく普通の地域で暮ら
しをさせて、自分の暮らし
に気をつけることにより
て自分を育てる」と。合
頼る力、自律すること、
ていく力、自律すること、
元々の力、自律すること、
貝向の力、自律すること、

11日午前の部は、弁護
士2名の対談から始まり
ました。
テンポの良い語り人が
気の向川純平氏(横濱法
律事務所写真(左))と、早
賢史氏(駿河台通法律
事務所写真(右))。遺言
公正証書と任意後見制度
の利用の仕方について、
とても興味深い対談を
しました。

研修会2日目

ち溢れた講演は、まさに
圧巻でした。



向川 純平 氏(左) ×
早田 賢史 氏(右)

午後2部の部は、人気講師
日詰正文氏(のぞみの園
事業企画局研究部長
写真(左))。
正しいことを言ったら

本人が苦手な事に直面し
た時に起こる問題行動は
「この次どうしたらいい
か」が分からなくて、避け
訓練と同じです。と。合
に「日詰氏はいつも、終始
こやかに穏やかに話
してくださいます。全力で
向き合いたい。現場
での実践が詰まっています。
私の支えがプラスに進む
の、支えがプラスに進む
に、根気がよく動いてい
なければいけません。この
基本を感じました。
次回、11月14日(土)のシ
ンポジウムの様子をお伝え
します。



日詰 正文 氏

人は動くのか？それは違
うんです。誰に教わりた
いか？なんです。と目か
ら鱗のお話をされました。
支援の中で行き詰まりが
あっても、自分はダメだ
と思わなくていい。他の
人ならいいかもしれない
んです。と。「自分の話
を分かってくれる人がい
る」が分かる支援の、実
践のお話をされました。
また、人の生活が大事、
という事を伝えるのが福
祉。その為には「練習」
が不可欠、と述べました。
本人が苦手な事に直面し
た時に起こる問題行動は
「この次どうしたらいい
か」が分からなくて、避け
訓練と同じです。と。合
に「日詰氏はいつも、終始
こやかに穏やかに話
してくださいます。全力で
向き合いたい。現場
での実践が詰まっています。
私の支えがプラスに進む
の、支えがプラスに進む
に、根気がよく動いてい
なければいけません。この
基本を感じました。
次回、11月14日(土)のシ
ンポジウムの様子をお伝え
します。